

平成27年3月2日
午後1時00分 受領

平成27年 3月2日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 8番 川村 明雄 ㊟

一般質問通告書

平成26年度福島町議会定例会3月会議において、次の件について質問したいので、会議条例63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
縄文文化によるまち興しの新視点（第3の記念館構想）について	<p>わが町の過去の歴史とこれからの歴史を鑑みるとき、まち興しの視点は、次の構想を具現化するところに置くべきと夢を流転させます。</p> <p>そこで次の構想や課題等について町長、教育長の考え方をお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 館崎遺跡の復元土器等の利活用によるまち興しの視点は。又、縄文遺跡への想いは。本事業の関係者による町民への報告講演開催を。2. 「道の駅」構想時の機能視点は。地方創生対策への連動は。3. 郷土資料館を構想した時の機能視点は。4. 学習、体験、食、文化、自然、観光、人材を考察した場合、わが町の訴えるべき視点及び構想は。5. 道と関係県が「北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録」を目指していることへの考えは。学芸員の配置や近隣町との連携体制の可否は。6. わが町の未来考察をした時、以上を総合した第3の記念館構想も考えられます。起業や経済興隆を前提とし是非とも調査研究費の検討を提案します。7. 縄文遺跡等によるまちの活性化と産業振興は可能、不可能の何れと考えるか。又、その理由は。	町長 教育長

注) 1 質問の要旨は、簡潔明瞭に記載すること。なお、記載外については、質問できません。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>ウインタースポーツ（スキー教育）の再普及について</p>	<p>学校教育、社会教育においてもスキーとの出会いが皆無といってよい程の現状になっている当町であると思います。</p> <p>去る1月17、18日知内町で開催された児童対象のスキー教室のチラシが回ったときは、何人が応募したのか気になっておりましたが、当町からの参加は3人だったとお聞きしました。</p> <p>児童数が少なくなった今、身長別の用具を何十組か整備することで全児童、生徒が経験できることも可能と思います。</p> <p>知内町の施設利用による子どもから大人までの、ウインタースポーツ（スキー）の再普及を提案します。</p> <p>かつては社会教育でも活発に取り組んでいた時代のことを思い起こしてください。</p> <p>教育長の考え方をお伺いします。</p>	<p>教育長</p>